

日本の近現代史をどう見るか



[日本の近現代史をどう見るか_下载链接1](#)

著者:岩波新書編集部

出版者:岩波書店

出版时间:2010-2

装帧:平装

isbn:9784004310518

19世紀半ばの黒船来航から、21世紀の現在まで、およそ150年。近現代の日本は何を求め、どのような歩みを進めてきたのか。そしてこれからどこへ行こうとしているのだろうか。通史を描いた執筆者9名が、各時代の日本を理解する上で欠かせない問いを掲げ、それに答えながら、総まとめをおこなう。シリーズへの入り口としても最適。

近代の幕開けから一五〇年余、日本は何を求め、どのような歩みを進めてきたのだろうか。そしてこれからどこへ行こうとしているのか。通史を描いた執筆者九名が、各時代の日本を理解するうえで欠かせない根本的な問いを掲げ、それに答えながら、総まとめをするシリーズ最終巻。各章ごとに推薦書を紹介。日本近現代史への導入としても最適。

作者介绍:

譯者簡介:

徐靜波

現為復旦大學日本研究中心教授，專業領域為中日文化關係、中日文化比較。著作有《梁實秋：傳統的復歸》《東風從西邊吹來——中華文化在日本》《日本飲食文化：歷史與現實》《日本文化人與上海（一九二三 - 一九四六）》《上海の日本人社會とメディア》（合著）《和食的饗宴》；另有譯著《日清、日俄戰爭》（岩波新書・日本近現代史卷三）《蹇蹇錄——甲午戰爭外交秘錄》等十種，編著《日本歷史與文化研究》等九種，曾在神戶大學、京都大學等擔任招聘教授。

目录: 第1章 幕末期、欧米に対し日本の自立はどのように守られたか
第2章 なぜ明治の国家は天皇を必要としたか
第3章 日清・日露戦争は日本の何を変えたのか
第4章 大正デモクラシーとはどんなデモクラシーだったのか
第5章 一九三〇年代の戦争は何をめぐる闘争だったのか
第6章 なぜ開戦を回避できなかったのか
第7章 占領改革は日本を変えたのか
第8章 なぜ日本は高度成長ができたのか
第9章 歴史はどこへ行くのか
終章 なぜ近現代日本の通史を学ぶのか
・ ・ ・ ・ ・ (收起)

[日本の近現代史をどう見るか_ 下载链接1](#)

标签

日本史

历史

日本

自我启发

日语

原版

东亚史

一般教养

评论

看了一半。。除了大正民主这张做了总结，其他章节大部分是补充说明，切入点也很小。这本还是应该放在系列最后读，虽然我大概读不完吧。。。。。

只看了前两章和终章，以及各章推荐的书目。感觉都很好。借最后一章，终于为自己一直思考的历史学沿革找到一点答案。简而言之，”战后历史学“处理的是民主和平的问题，是反思，立足点是国家，至”民众历史学“则是关注个人，即目前国内兴起的个人史，将视野从国家、集体转移，关注历史中的个体，相比以前而言的边缘人的感受。”现代历史学“则处理的是，在前提条件，诸如”日本“”日本人“这些概念都不存在的情况下，在全球史的洪流下，如果理解日本的历史，尤其是把握过去和”当今“的联系。它并不反过去两种，只是需要处理更多前提条件的问题。这样看，日本的历史研究比国内还是走得远的多。

[日本の近現代史をどう見るか_下载链接1](#)

书评

[日本の近現代史をどう見るか_下载链接1](#)